

2019年度流通体制に関するアンケート 調査結果

【アンケート調査の概要】

- * 調査方法 会員会社への Mail 送信による聞き取り調査
- * 調査期間 2019年4月1日～2020年3月31日
- * 調査期日 2020年7月27日
- * 提出会社 40社中40社（提出率：100%）

【前提条件】

- 会員各社の決算月が異なりますが、アンケートは直近2期分の決算の数字でご返答下さい。例えば3月決算の会社は2019年3月度決算と2020年3月度決算の数字を、12月決算の会社は2018年12月度決算と2019年12月度決算の数字をご記入下さい。
- 吸収合併など集計に影響を及ぼすと考えられる事項があった場合は、備考欄にご記入下さい。
- 対象品目は承認品目とし、販売のみの製品は除いて下さい。また、原薬の販売や受託加工賃は含めず、あくまでも医療用医薬品の最終製品の売上高のみをご記入下さい（*質問4については全販売品目を対象としてご回答願います）。

・・・・・・・・・・調査結果・・・・・・・・・・

【質問1】 御社の医療用医薬品の販売金額と構成比をご記入下さい。

- 「A. ジェネリック医薬品（後発医薬品）」は、「診療報酬上の後発医薬品」（日本薬局方における「診療報酬上の後発医薬品」は含み、昭和42年9月末日以前承認品目は除く）を対象として下さい。
- 「B. 先発医薬品」については、上記に該当しない医療用医薬品の売上をご記入下さい。

表. 販売金額と構成比

	1期前の決算 (億円)	構成比 (%)	直近の決算 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)
A. ジェネリック医薬品 (後発医薬品)	6,717	90.8%	6,882	89.7%	2.5%
B. 先発医薬品、その他	677	9.2%	788	10.3%	16.4%
医療用医薬品 合計	7,394	100.0%	7,670	100.0%	3.7%

回答社数：36社（未回答4社） ※未回答には医療用医薬品の合計のみを開示した1社を含む

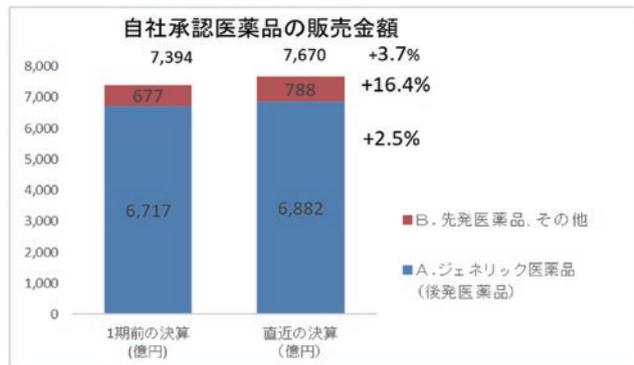


表. 医療用医薬品の売上規模

医療用医薬品の売上規模	1期前の決算	直近の決算
1000億円超	2	3
800億～1000億円	1	0
600億～800億円	1	1
500億～600億円	0	0
400億～500億円	0	0
300億～400億円	1	1
200億～300億円	3	5
100億～200億円	5	4
50～100億円	6	5
0-50億円	17	17
未回答	4	4
	40	40

表. GE 医薬品の売上規模

GE 医薬品の売上規模	1期前の決算	直近の決算
1000億円超	2	2
800億～1000億円	1	1
600億～800億円	1	1
500億～600億円	0	0
400億～500億円	0	0
300億～400億円	0	0
200億～300億円	2	3
100億～200億円	6	6
50～100億円	6	5
0-50億円	18	18
未回答	4	4
	40	40

【コメント】

回答のあった36社の医療用医薬品の売上の合計は7,670億円、そのうちジェネリック医薬品の売上高は6,882億円で、前年度からの伸長は+3.7%であった（販売額ベース）。先発品の伸びとしては長期収載品の承継が自社承認に切り替わった例も報告された。

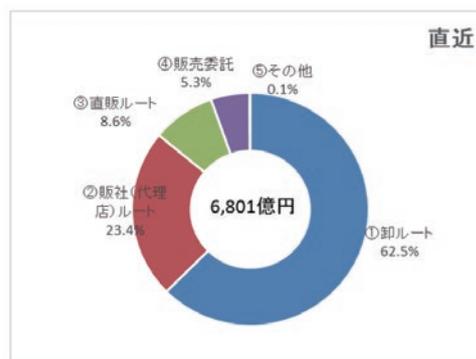
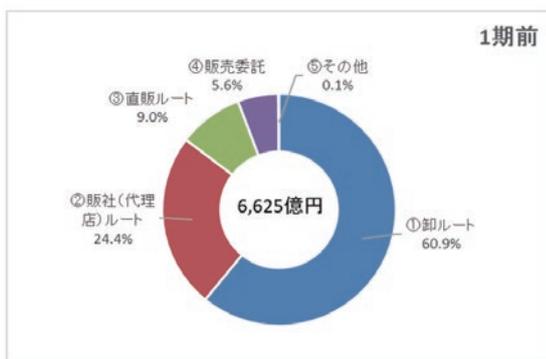
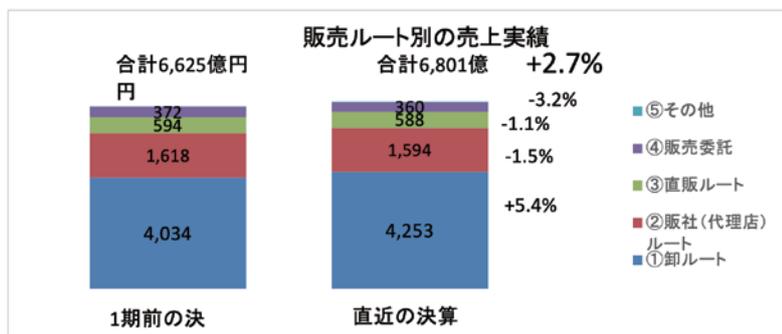
【質問2】 質問1の「A. ジェネリック医薬品（後発医薬品）」について、ルート別年間売上と構成比をご記入下さい。

○「A. ジェネリック医薬品（後発医薬品）」の金額が、以下の合計と等しくなるよう記載下さい。

表. ルート別年間売上

	1期前の決算 金額（億円）	構成比 （%）	直近の決算 金額（億円）	構成比 （%）	前期比
① 卸ルート	4,034	60.9%	4,253	62.5%	5.4%
② 販社（代理店）ルート	1,618	24.4%	1,594	23.4%	-1.5%
③ 直販ルート	594	9.0%	588	8.6%	-1.1%
小計（①+②+③）	6,247	94.3%	6,435	94.6%	3.0%
④ 販売委託	372	5.6%	360	5.3%	-3.2%
⑤ その他	6	0.1%	6	0.1%	5%
販売ルート合計 （①+②+③+④+⑤）	6,625	100.0%	6,801	100.0%	2.7%

回答社数：34社（未回答6社）



【コメント】

回答のあった34社のジェネリック医薬品の売上は、卸ルートのみ伸長しており、全ジェネリック医薬品中、販売金額の卸ルートの構成比は62.5%に達した。販社ルート、直販ルート及び販売委託が微減となった。

【質問3】施設別取引高と構成比をご記入ください（*質問2で①～③に売上があった会社のみ）。

○各社で把握しているもののみを記載して下さい（電子化データ未入手などの理由により集計ができない場合は「未集計」に記載下さい）

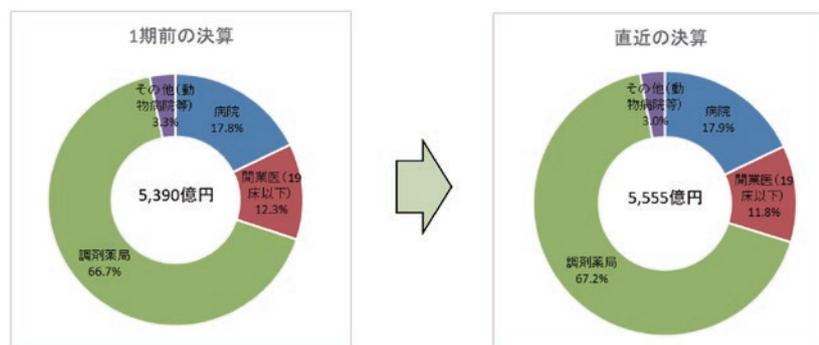
○病院の売上（①DPC対象病院／②その他の病院）については、任意の記載事項とさせていただきます。

○質問2の「小計」が、以下の「医療機関 合計」と等しくなるよう記載下さい。

表. 施設別取引高と構成比

	1期前の決算		直近の決算		前期比
	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	構成比(%)	
病院	958	17.8%	995	17.9%	+3.8%
参考 DPC対象病院 (準備病院を含む)	613	11.4%	649	11.7%	+5.9%
参考 その他の病院	309	5.7%	312	5.6%	+0.9%
開業医(19床以下)	663	12.3%	658	11.8%	-0.8%
調剤薬局	3,593	66.7%	3,734	67.2%	+3.9%
その他(動物病院等)	176	3.3%	169	3.0%	-4.0%
医療機関 合計	5390	100.0%	5,555	100.0%	+3.1%

回答社数：21社（DPC対象病院、その他の分類回答は15社）



【コメント】

金額、構成比ともに大きい調剤薬局が3.9%伸び、販売金額の構成比で67.2%となった。病院も+3.8%伸びた。

【質問 4】卸業者との取引についてご記入下さい。(2020年3月31日現在)

<卸 / 販社との取引の有無>

	自社販路を 持つメーカー数	取引あり	取引率
メディパルHD	33	32	97%
スズケングループ		30	91%
アルフレッサHD		31	94%
東邦HD		31	94%
バイタルケーエスケーHD		21	64%
販社		25	76%

【コメント】

自社販路の多くが卸チャンネルを活用しており、また76%の会社は販社のチャンネルを活用している。

【質問 5】緊急配送体制についてお伺いします（*質問 2 で①～②に売上があった会社のみ）。

2019年度中に要請があった件数、対応できた件数をご記入ください。

実際に緊急出荷の依頼を受けた企業	16
依頼に対応した企業	16(100%)
実際に緊急出荷の依頼を受けた件数	1,329
依頼に対応できた件数	1,329 (100%)

【コメント】

実際に依頼を受けた16社については、集計期間中に緊急出荷の依頼があった件数の100%に対応できたとの報告があった。

【質問 6】2021年3月末に向け、販売包装単位、および元梱包装単位への変動情報を含むバーコードの付与が原則化されます。御社の状況について下記の表に記載ください。

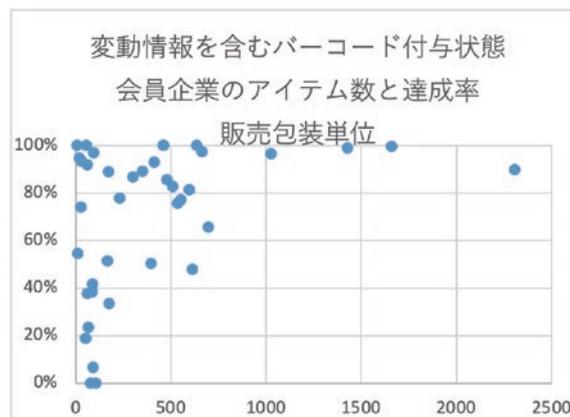
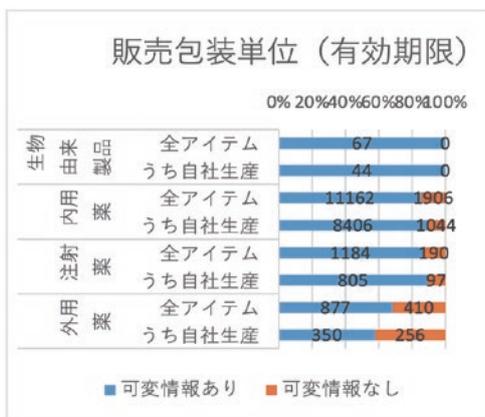
- 2020年3月末現在の状況をお答えください。
- 委託製造を含む全アイテム、そのうち自社製造分についてそれぞれご記入をお願いします。

1) 調剤包装単位

区 分	アイテム数	新バーコード表示数		
		商品コード	有効期限	製造番号又は製造記号
特定生物由来製品	全アイテム	0	0	0
	うち自社生産	0	0	0
生物由来製品 (特定生物由来製品を除く)	全アイテム	66	66	3
	うち自社生産	43	43	3
内用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	10,027	9,722	35
	うち自社生産	6,973	6,973	31
注射薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,288	1,273	2
	うち自社生産	810	810	0
外用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,120	1,031	32
	うち自社生産	507	507	28

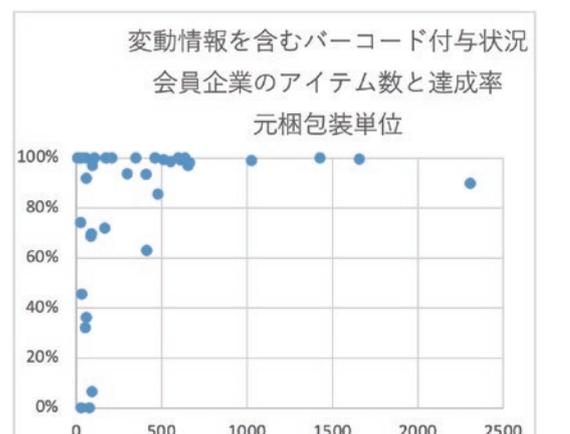
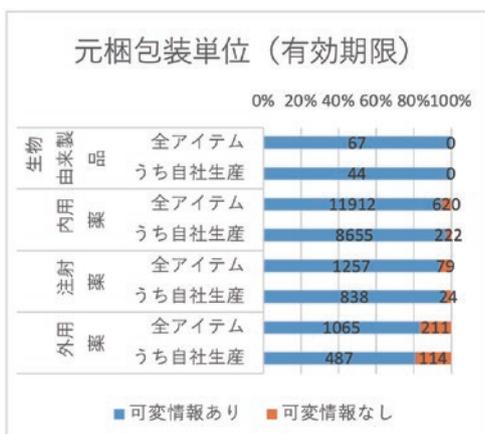
2) 販売包装単位

区分	アイテム数	新バーコード表示数		
		商品コード	有効期限	製造番号又は製造記号
特定生物由来製品	全アイテム	0	0	0
	うち自社生産	0	0	0
生物由来製品 (特定生物由来製品を除く)	全アイテム	67	67	67
	うち自社生産	44	44	44
内用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	13,068	12,823	11,162
	うち自社生産	9,450	9,450	8,406
注射薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,374	1,358	1,184
	うち自社生産	902	901	805
外用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,287	1,212	877
	うち自社生産	606	606	350



3) 元梱包装単位

区分	アイテム数	新バーコード表示数			
		商品コード	有効期限	製造番号又は製造記号	数量
特定生物由来製品	全アイテム	0	0	0	0
	うち自社生産	0	0	0	0
生物由来製品 (特定生物由来製品を除く)	全アイテム	67	67	67	67
	うち自社生産	44	44	44	44
内用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	12,532	12,220	11,912	11,850
	うち自社生産	8,877	8,685	8,655	8,638
注射薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,336	1,267	1,257	1,256
	うち自社生産	862	838	838	838
外用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,276	1,209	1,065	1,059
	うち自社生産	601	562	487	481



【コメント】

販売包装単位、元梱包装単位への変動情報を含むバーコードの付与状況について「有効期限」について集計した。販売包装単位での付与率は昨年度の同集計よりも進み、内用薬で85%（自社生産品では89%）、注射剤では86%（同89%）となった。一方、外用剤でも進捗はみられたものの、68%（同58%）とやや遅れがみられる。尚、元梱包装単位でも同様に外用剤で遅れが見られた。

昨年の傾向と同様、アイテム数の多い会社は、高い遂行率となっているが、アイテム数が500未満の会社に遂行率の低い会社が見受けられる。